

2018年9月25日  
株式会社ドリコム

**『ドリコム、DAppsをまたいで利用可能なトークンを、  
誰でも生成できるERC721拡張スマートコントラクト  
「||||| (6 pillars)」を発表』**

株式会社ドリコム(東京都目黒区、代表取締役社長:内藤 裕紀)は、より自由なDApps開発を支援するERC721拡張スマートコントラクト「||||| (6 pillars)」(シックスピラーズ)を発表いたしました。



**「|||||」公式ウェブサイト**

「|||||」は DApps をまたいで利用可能なトークンを誰でも生成できる、Ethereum 上で動作するERC721拡張スマートコントラクトです。

生成されたトークンには不変なデータが明記され、開発者がそれを使いトークンの振る舞いを決定する事で、ある DApps 上では価値がなかったものが、他の DApps 上では価値が高いものとして扱われるなど、トークンの価値が絶対価値から相対価値になります。

「|||||」は、弊社新規事業開発部門「DRIP(ドリップ)」部が開発を手掛けています。現在のところ「|||||」での事業化の予定はありません。

## ■ 開発背景

ERC721を初めとしたDAppsで使われているNon-Fungibleトークンは、移行や売買はユーザー同士で可能ですが、発行や破棄はDApps運営主体が握っており、従来の中央集権的サービスに近い形をとっています。またそのトークンは、発行したDApps内でしか価値を発揮できないものがほとんどです。そんな中で、発行や破棄すらもユーザー自身で可能な、かつトークンの持つデータは改竄不可能な、そしてどんな DApps でも利用でき、それぞれの DApps で価値が変化する、より柔軟で自由なNon-Fungibleトークンがあれば、既存のDAppsが提唱するトークンエコノミーよりも広い世界を創れるのではないか、という想いから開発しました。

## ■ 特徴

- ・ 誰でもトークンを発行/移行できる
- ・ |||||は誰がどのトークンを所有しているかを証明する
- ・ |||||はトークンの発行元を証明する
- ・ トークンは|||||に対応したDApps間で利用できる
- ・ トークンは発行時に任意のデータを付与でき、そのデータは発行後変更できない
- ・ 各DAppsは不変なデータを元にトークンの振る舞いを決定できる

## ■ 利用例

- ・ あるゲーム系DAppsでは弱いキャラクターとしての価値しかないトークンが、他のゲーム系DAppsでは強いキャラクターとして利用できる
- ・ あるDAppsで作成し利用したトークンを持ったまま別のDAppsを始めると、特典が受け取れる
- ・ デジタルアセットと紐づくトークンを発行でき、アセットの所有権を別の人に移行しても、発行元アドレスがそのアセットの作成者を証明できる
- ・ 発行元が不明なトークンの利用を制限できる

## ■ 利用方法

詳細はこちらをご確認ください。

<https://github.com/drip-oss/|||||>

## ■ ドリコムの新規事業部「DRIP部」とは

|||||を開発したDrecom Invention Project部(略称:DRIP部)は、「発明の種を産み続ける」をスローガンに掲げる、弊社代表取締役社長の内藤直下の少数精鋭の新規事業部です。DRIP部は、2018年はAR・ブロックチェーンなどの領域で、ワクワクするような新しい体験の提供を目指します。DRIP部は今までに、ダイニングコンシェルジュサービス「PlanB(プランビー)」、物々交換アプリ「Clip(クリップ)」、マップコミュニケーションアプリ「PASS(パス)」などをリリースしてきました。DRIP部では、一緒にチャレンジしてくれる仲間を募集しています。ご興味のある方は、下記記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

■ 「|||||」概要詳細

サービス名: ||||| (6 pillars / シックスピラーズ) ※「|」はバーティカルバー  
提供開始時期: 2018年9月25日  
公式サイト: <https://6-pillars.ooo>  
利用料金: 無料  
著作権表示: © Drecom Co., Ltd. All Rights Reserved.

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ドリコム 担当:五十嵐 啓之

TEL:03-6682-5700 / FAX:03-6682-5711 / email:pr@drecom.co.jp